



## 100年をつくる



### 編集方針

2007年からCSR報告書として、鹿島の本業を通じた取組みについて年度ごとに発行してきましたが、今年度から統合的思考に基づいた構成とした上で、「鹿島コーポレートレポート」と名称を変更しました。本レポートでは、鹿島と社会の持続可能性の観点から、鹿島が認識する課題と課題解決に向けた取組みをお伝えし、鹿島が重要と考えるQ(品質)・S(安全衛生)・E(環境)を中心に構成しています。また、客観的評価を高めるため、外部有識者に第三者意見を頂いています。

なお、本レポートに掲載の非財務情報はGRIガイドライン第4版を参考にしています。また、主要な財務情報は本レポートに掲載していますが、詳細については、当社ウェブサイトに掲載しています有価証券報告書をご参照ください。

#### ■報告対象期間

2013年度(2013年4月1日～2014年3月31日)  
当該年度以外の重要事項も一部掲載しています。

#### ■報告書対象組織

財務情報や鹿島が認識する課題等についてはグループ全体を対象とし、取組み内容は鹿島建設株式会社単体の国内外全部門を中心に掲載しています。ただし、安全衛生や環境に関する定量的データは鹿島建設株式会社単体の国内のみを対象に集計しています。

#### ■発行時期

2014年7月(前回:2013年7月 次回:2015年7月予定)

#### ■参考としたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン」2007年版  
GRI「サステナビリティ レポーティング ガイドライン第4版」<sup>※1</sup>  
※1 GRIガイドライン対照表はウェブサイトに掲載しています

#### ■ウェブサイトにおける情報提供

鹿島ホームページ <http://www.kajima.co.jp/>  
CSRの取組み <http://www.kajima.co.jp/csr/>

## CONTENTS

- 04 社長メッセージ
- 06 社業の発展を通じて社会に貢献する  
10 数字で見る鹿島
- 12 **特集** 人が財産～  
鹿島がサステナブルであるために
- 18 **特集** 復興の力となる
- 24 良質なインフラや建物・サービスの提供
- 26 **Q** 品質
- 32 **S** 安全衛生
- 36 **E** 環境  
40 マテリアルフロー
- 44 鹿島グループ CSRの5つの要素
- 48 信頼ある企業統治～  
鹿島のコーポレート・ガバナンス
- 52 第三者意見